

今月の「こんにちは市長室」

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 1月11日(木) 13:30~16:00

ところ 中央図書館

問い合わせ 秘書広報課 ☎552-5109

ふるさといちばん

市長の **HOT** と一く

丹波篠山の時代をつくろう



お正月に集まって 「わが家、わが村に住もう帰ろう」を!!

市民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。
本年が良い年でありますよう、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



丹波篠山市民の日 記念イベント



秋の大にぎわい

今年はこの良い流れをそれぞれ
の集落やご家庭にもど
ん広げてゆかれます。
一昨年から取り組んでいる「ワ
クワク農村」の取り組みを進めま
す。どこの集落でも「子どもが少
ない」「村の行事や農業をどう守る
のか」など課題があります。
しかし、丹波篠山にはたくさ

さて、昨年は市にとって着実
に前進した年であったと思
います。「丹波篠山」ブランドは高
まりました。観光客は増え続けて
おり、10月だけで72万人と過去最
高、移住者や移住希望者も増え人
気です。
5月には重要な伝統的まちなみ
の全国大会を開催し、丹波篠山は
まちも人もすばらしい」と全国か
ら称賛されました。テレビ番組で
は「GW(ゴールデンウィーク)に
行くべき全国の城下町ベスト15」
の第2位に輝きました。

11月の丹波篠山市民の日には、
県内の強豪市町と「おいしいお米」
(豊岡市)、「城下町」(姫路市)、「子
育て」(明石市)などの魅力比べ対
決をし、丹波篠山市は一歩も引か
ず、引き分け取り直しになりました
(詳細は30・31ページに)

どうぞ本年も
よろしく願っています。

そして、あと1年少しで「丹
波篠山国際博 日本之美
い農村」が始まります。市内の
180を超える地域や団体が参
画されます。
丹波篠山には世界に誇るも
のがいっぱいあります。春には
桜街道、カエルの大合唱、夏に
はホタル、デカンショ祭、秋に
は黒豆、秋祭り、冬には雪景色。
そして、城下町のまちなみ、丹
波焼、田園風景、オーガニック
ビレッジなど、私たちの暮らし
の中にある魅力をぜひ見つけ直
して、オール丹波篠山で盛り上
げましょう。

んの魅力や幸せがあるのです。
今こそ、未来を見つめ「わが家、
わが村に住もう帰ろう」を進め
ましょう。このお正月に村のみ
んなで集まって話し合い、アイ
デアを出し合っていたきたい
と思います。近くにおられる子
どもさん、お孫さん帰ってきて
ください。

夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山東雲高等学校が優秀賞

— 第47回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会 —



松笠心美さん、土谷柚葵さん、永井涼太さん
(後列左から)
中沢啓悟さん、坂本光希さん、三木大志さん
(前列左から)

11月10日から12日までバンドー神戸青少年科学館で開催された
第47回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会で、篠山東
雲高等学校自然科学部(坂本光希部長・6人)が昨年の環境普及部門
に引き続き、パネル発表部門優秀賞を受賞しました。

選んだテーマは、「堀の外來生物駆除による動物相の変化」。今か
ら4年前、ウシガエルの駆除活動として、市役所や神戸大学と連携
して活動を開始。オタマジャクシがウシガエルに変わる4~9月に
月1回活動を実施し、生徒たちは胴長を着て、定置網やもんどり、
タモ網などを使って、ウシガエルのほか、オタマジャクシ、ブルー
ギル、アメリカザリガニの駆除活動や生物調査を行ってきました。

発表会では、令和2年から令和5年まで取り組んだ結果をポス
ターにまとめて発表。「写真を使いながら、みんなに聞き取りやすい
声を意識して発表しました」と坂本部長。受賞を受けて、「自分たち
の活動を高く評価してもらって、すごくうれしいです。これからも
がんばっていきたいです」と力強く話してくれました。

大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎506-2366

ササる!協力隊



研究をしながら地域で活動する半学半地域型地域おこ
し協力隊から、今回は隊員の1人をご紹介します!

神戸大学で小学校の教員免許を取得し、現在は同大学院でSTEAM教育
について研究しています。

地域おこし協力隊は学部4年生のときに始め、現在2年目が終わろうと
しています。始めたきっかけは、子どもが実世界に関わりながら学ぶ教育
に興味を持ち始めたことでした。「学校と地域をつなぐ」ことや「子どもと自
然をつなぐ」ことは大事なことで、協力隊はそのコーディネーター役にぴっ
たりの仕事です。主に古市地区を中心に、15回以上の自然体験イベント
を実施し、100人を超える子どもたちと関わりました。

里山、特に丹波篠山は教育資源の宝庫です。それを拾って子どもたちと
いかにうまくつなげていくかが、自分の活動のテーマだと考えています。
今後は「里山×STEAM教育」をテーマに、これまで都会でのイメージが強
かったSTEAM教育を実施するホンモノの教室・プログラムを市で立ち上
げるために力を入れていきたいです。ぜひ、遊びに来てください!

★STEAM教育

理系や文系の枠を横断して学び、問題解決能力を育てる教育のことで、
科学・技術・工学・芸術・数学の5つの英単語の頭文字からなっています



石田 歩夢さん

